

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フェローKIDS			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～	令和7年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65人	(回答者数)	34人
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～	令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的なITスキルが学べる	プログラミング、Office、動画制作、デザイン、イラスト、資格取得、AIを用いた学習など、多様なITスキルから一人一人に合った分野を、一人一人に合わせたステップで学べること。	子どもたちのやりたいことや、叶えたいこと、就労環境に役立つことを見据えて、新しい取り組みも行なっていく。
2	就労に特化したイベントを行なっている	毎月開催している働くことを考えようイベントでは、就労や社会に出るにあたってのビジネスマナー、社会性を身につけるための講義やディスカッションを事業所内で行なっている。また、同グループ内の福祉就労施設への見学、システム事業部への見学などを定期的に行なっている。さらに同グループ内に限らず、他事業所・他企業への見学も行なっている。	毎回振り返りミーティングを行い、より健全な就労意識が持てるようなイベントへとブラッシュアップしていく。
3	1人1台高性能パソコンが用意されている	パソコンによって導入しているソフトが異なっており、多種多様なニーズに応えられるように努めている。	児童同士での共同制作作品など、他者と得意分野を活かし合って制作できるような機会を適宜提案・提供していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	IT学習が属人化しがち	高度なIT学習の場合、元々業界を経験していたスタッフがサポートせざるを得ない状況になりがちである。	動画教材の作成やスキルアップ勉強会などを通して、全体的な支援のボトムアップを行なっていく。
2	イベント運営の体系化ができていない	働くことを考えよう、ITリテラシー、SST、外出イベントなど、それぞれが単発的な打ち出しや内容になっていて、ステップアップの流れになっていない。	年間のイベント計画をあらかじめ立てて、流れや繋がりを意識したイベント運営を行なっていく。
3	不登校児のステップアップの体系化が不十分	不登校児童からのニーズは高まっているが、「まずは当デイに安定して通える」というところを越えた具体的なステップアップの体系化が不十分となっている。	事業所、スタッフ、他児童との関わりの中でのステップアップ、ITスキルのステップアップ、他の場所でも安定して過ごせるステップアップ、事業所に来られなくなった時の継続的な支援など、今通われているご家庭のニーズを拾いながら傾向を鑑みて体系化していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス フェローKIDS

公表日 令和7年 11月 1日

利用児童数 65人

回収数 34人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	5		1		机や椅子、PCの配置を変えるなど、スペースが十分確保できる対策を行なっていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	2		4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	3		4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	2		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	4		1		利用者様にも保護者様にも適宜聞き取りを行いながら、それぞれに合ったステップの活動を提案してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	3	2	14		現状はスマイルプロジェクトin秋祭りがこれに当たる活動です。その他にも交流の機会を増やしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2	1	12		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	34					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2		3		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4	3	18		保護者様との勉強会を企画し、開催に向けて動いていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1		2	CCに保護者のメールアドレスが入り、送られてきたことがある。	支援アプリの導入を行いました。その他にも個人情報の保護について、二重チェックや書類管理など更なる注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1		7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27			7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	26	1		7	いつもより体温が高めの際、ご配慮の連絡をいただきました。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	5			とても好きようです。	IT活動以外にも、外出やeスポーツなど、より楽しめるイベントの企画を行なっています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34				<p>通いだして日が浅いので、わからない部分もありますが、行ける日を楽しみにしています。サポートをして頂き完成した事で、喜びと達成感、少しずつ自信を持てるようになっていと感じます。</p> <p>本年度で利用終了ですが、先生方はみなさん今の息子に合った活動内容や支援方法を提案してくださり、私たち家族の意向もしっかり聞いていただけるので、信頼しています。</p> <p>子供たちに配慮した運営がされていると感じています。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 11月 1日				
放課後等デイサービス フェロー-KIDS						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		机の配置を工夫したりして、車いすでも通りやすいようにしている。 座席配置等を工夫している。今後ともベストな配置を探っていく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		課題や資料など提供するものを効率化していく	情緒や体調が優れない児童が出た際に、個別の対応が必要となり、状況によっては現場が手薄になることがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		座席表を提示している	部屋が少々手狭に感じる時がある。車椅子の通りやすさなど改善できる部分はあると思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃で清潔感を維持できている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室、休憩室の設置	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	参加する機会が少ないように思います	申し送りの徹底
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		改善できるところは改善し、より良い支援ができるようにしている アンケートの実施	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見交換の機会は少し少ないように感じる	意見交換の場を増やしていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な研修や勉強会の実施	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリングの実施 支援計画の作成・運用	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ同士でも相談し一人一人に合った計画を作成している 支援計画作成時にミーティング	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画の共有はできているが、計画に沿った支援はまだまだ改善できると思う	支援時に計画の確認
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		子どもとのコミュニケーション
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		適切な支援計画の作成	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			申し送り、ミーティングの実施

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月、イベント内容などを利用児童の意見を聞いたり、チームで話し合いながら立案している。 固定化されているプログラムもあるが、イベント等で様々な経験を得られるよう工夫している 随時、課題の見直しを行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		各種イベントの実施	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	申し送りの徹底	事前打ち合わせはできていない。改善するべき所
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	申し送り時に確認	児童に変化があったときに注意してみることが共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録の徹底	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		申し送り時に本人と保護者の意思確認の実施	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		押しつけではなく自主的な活動内容の確認	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		責任者の出席	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		各関係機関との連携の強化
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	ケース会議等を通して、各校と連携を強化していく	一部の学校とはお迎え時の注意事項を確認している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	小学校低学年の児童は特に連携を図っていく	現状、卒業から年数が経っている中高生が多い
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて提供	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	連携を図り、関係性を強化していく	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		毎年、秋祭りイベントを通じて地域の子もたちとの交流の場を創出している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		放課後等デイサービス連絡協議会に参加し、定期的に意見交換を行なっている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		アプリによる連絡	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	保護者等との関りの強化	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		随時、本人、ご家族の意思確認	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		中高生が多いので、児童自身とも面談を行うことがあります。 送迎時等による保護者とのコミュニケーション	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者様との勉強会の開催	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口の設置	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		今後、成長療育支援システムをより有効活用していきます。	SNS・HPでの発信はできていないが、成長療育支援システムを使って告知など行なっている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類等の厳格な運用	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援等	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		定期的な外部イベントの開催	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル、BCPの作成及び運用	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的な防災訓練（年2回）の実施	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時及び、随時子供の状況の確認の実施	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	昼食等の食材の確認 契約時に聞き取りと共有のお願い	指示書の共有をいただいているご家庭とそうでないご家庭がある
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理のための研修の実施	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		支援計画内への記載	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書の作成	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月1回、法人内で勉強会を行なっています。 虐待防止委員会の設置及び、研修/勉強会の実施	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		個別支援計画への記載及び、保護者への確認 契約時にも具体的なケースについて説明を行なっています	